

令和6年度 新津第五中学校 学校教育ビジョン

教育目標 自主・協力・創造

《国、県、新潟市の施策》

《地域の願い、学校の課題》

《コミュニティ・スクール》

《校外と連携した各種協議会》

＜重点目標＞

「正しく判断し進んで行動しよう」「責任を重んじみんなで力を合わせよう」「意欲をもって生き生きとした学校をつくろう」

《目指す生徒像》

- ・夢や目標をもち、課題を的確に捉え、主体的に最後までやりぬく
- ・確かな学力、生きる力を身に付ける
- ・自他を認め、思いやり、協働して取り組む
- ・学校や地域誇りをもち発展に尽くす
- ・合言葉「あいさつの五中」「合唱の五中」「チャレンジの五中」を実践する

《目指す学校像》

- ・「行きたい、行くのが楽しみ」である
- ・保護者が、通わせてよかったと思う
- ・一人一人に応じた支援がある
- ・地域と協働して学校づくりを行っている
- ・地域にとって自慢である
- ・説明責任、結果責任を果たしている

《目指す教師像》

- ・親しまれ、頼られ、信頼される
- ・自ら範を示し、共に学び続ける
- ・主体者意識、チームで取り組む
- ・課題解決の成就感がある職場

重点事項（教育課程編成で核とする視点、具体的な手立てを講じる内容）

○生きる力の育成、学力の向上

- ・自己肯定感を育む教育活動の充実
- ・各種調査による授業分析、OJTを通じた学力向上取組、ICTの活用
- ・キャリア発達を促す総合的な学習の時間の再編成

○不登校、不登校傾向の解消と未然防止、いじめ見逃しゼロ

- ・情報の迅速な共有
- ・組織的な対応
- ・関係機関との連携
- ・「いじめ対応ファイル」の確実な運用

○地域連携等

- ・部活動地域移行に向けた取組
- ・地域教育COによる地域との協働
- ・学校HP、各種たより情報発信
- ・学校運営協議会の充実
- ・幼保こ小中連携の取組の推進

○特別な支援を要とする生徒の特性を理解し、一人一人に応じた授業や活動の推進（特別支援教育の充実）

- ・特別支援教育の研修、全教育活動における個々のニーズに応じた支援体制の確立
- ・「個に応じた」授業、支援内容、方法の共有と開発

働き方改革の視点から

- ・ICTの活用、ペーパーレスによる業務による業務の効率化、各種会議の効率化
- ・諸会議の精選、時間の短縮
- ・改修工事下における教育課程の円滑な運営